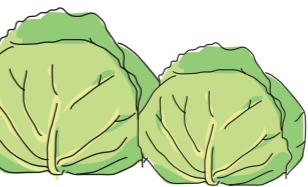


YANMAR

ヤンマー キャベツ機械化システム

栽培開始までに行う
土づくり作業

基肥投入

排水のよい有機質に富んだ肥えた土にすると共に、通気性をよくする。

有機物投入

堆肥は10a当たり2t以上を目安に。

酸度矯正

pHは6.0~6.5程度に。

耕うん

排水のよい有機質に富んだ肥えた土にすると共に、通気性をよくする。

土壌消毒

排水の悪いところでは、高うねにする。

うね立て整形

排水の悪いところでは、高うねにする。

移植

株元はしっかりと押さえ、深植えを避けるのがポイント。苗の種類やうねの形状に合わせて移植機を選ぶ。

かん水

過湿にならないように注意し、活着まで確実に行う。

中耕・追肥・培土

追肥は2~3回に分けて行う。外葉をあまり大きくせずに、適度な結球を得るために、基肥を少なめにし、追肥で加減する。

防除

コナガ・アブラムシなどの害虫に対しては、早期防除を心がける。(4~5回)

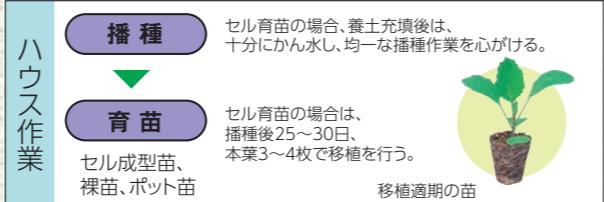
収穫

適期収穫を心がける。一斉収穫のためには、均一な苗づくりが大切。

調製・梱包・出荷

収穫適期は本葉4~5枚で、定植すれば定植後60~70日。1球重1.2~1.5kgを目安として、硬くなりすぎないように収穫する。

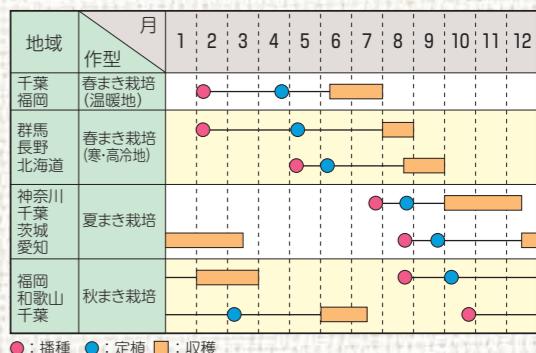
高溫期は鮮度保持のため予冷する。



トンネル張り → トンネル除去

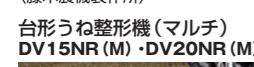
秋まき春どり栽培で実施する場合もある。

●作型 (代表例)



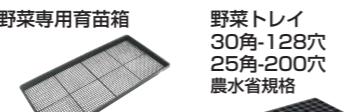
うね立て整形

●トラクター用作業機

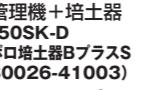
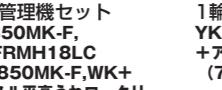


育苗 (セル苗づくり)

●野菜育苗資材



管理機用作業機



移植

全自動野菜移植機: PW10 (W), PW10C (NEW)



乗用全自動野菜移植機: PW20R (RS)



乗用汎用野菜移植機: PH2R (W)



乗用汎用枝豆移植機: PH2R, E



汎用野菜移植機: PH1, (W) A



裸苗移植機: PH10, 1C (NEW)



中耕・追肥・培土

●乗用管理機用作業機

ミッドマウント管理作業車 + 3連中耕ロータリー (幅狭力バー付) + 培土器 MD20, APV (U) + RM301MD, CRTH (+ RM301MD-HK, CRTHA) + イエロー培土器 MD (7S0076-12000) × 3個



乗用管理機 + ロータリーカルチ + イエロー培土器 HVシリーズ + CR33YB + YL12-3



ミッドマウント管理作業車 + 除草カルチ (キュウホー)



●トラクター・管理機用作業機・専用機



1輪管理機 + 培土器 YK650SK-D + アボロ培土器Bプラス (7S0026-41003)



除草カルチ (松山・小橋工業・ササキコーポレーション)



1輪管理機 + 培土器 + 肩削りロータ YK650SK-D + ステンレス培土器STR35 (7S0022-34000) + PSC肩削りロータ (7S0011-90000)



カートン供給機 FK-240・FK-400 簡易封かん機 AS32303 (岡山農業公社)



収穫・運搬

キャベツ収穫機: HC125, A (中型)



NC14, AHW

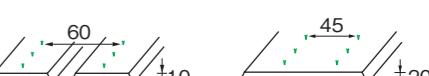
調製・出荷

カートン供給機 FK-240・FK-400 簡易封かん機 AS32303 (岡山農業公社)



●一般的なうね形状 (cm)

露地



トンネル



●機械化のための標準栽培様式 (cm)

1うね条数	うね幅	うね高さ注1	条間	株間
1条	45~60	0~20	—	30~45
2条	120	0~25	45~60	30~45

注1:うね高さの「0」は、うね立てなしを想定したものです。

キャベツ機械化システム

播 種

トレイの連続供給からかん水まで、一連の作業を自動で高能率に！

ヤンマー野菜播種機
SV410



- トレイ連続供給(最大20枚)→養土充填→かん水→鎮圧穴あけ→播種→覆土→かん水。の一連作業が自動で行えます。トレイ、養土、種子、覆土を供給すれば、410箱/時の高能率作業が可能です。
- 種子がトレイに最も近いところで落下するので、確実にセル中心に高精度播種。その後の育苗がスムーズに行えます。

移植機

全自動タイプ

ヤンマー全自動野菜移植機
PW10,W 1畦1条植え・往復2条植え
PW10C 1畦1条植え **NEW**



- 安定した植付け性能で、まっすぐきれいに植付け。また、植付け速度0.52m/秒(標準・L・W仕様)とスピーディな植付けで、移植作業を大幅に省力化できます。

汎用タイプ

純正トレイに限らず、さまざまなセル成型苗やポット苗などが植付けできる汎用野菜移植機です。規格に合わせて乗用型・歩行型からお選びいただけます。

ヤンマー乗用汎用野菜移植機

PH2R 1畦2条千鳥植え

PH2R,W 1畦2条千鳥植え・1畦1条(同時2条)

- 千鳥植えで作物同士の干渉が軽減されます。
- 条間スライド調節で、さまざまな作物や栽培体系に適応します。
- 乗りながらロータリーポットに苗を入れるだけ。イスに座って作業できるため、苗の供給に集中できます。
- 1人で2条同時に植付けることができるので、作業者の負担を大幅に軽減します。
- 横開きの開孔器を採用。植付け後、覆土輪でしっかり土寄せを行うため、安定した植付けができます。

乗用型



ヤンマー汎用野菜移植機

PH1,A 1畦1条植え

PH1,AW 往復2条植え

歩行型



- うね高さや作業者の体格に合わせてハンドル高さをワンタッチで4段階に調節できます。旋回時には、ハンドルを上側にセットすることで、かがまず、ラクに旋回できます。

キャベツ収穫機

機械一斉収穫で、キャベツの収穫・調製作業が大幅に効率化・軽労化！

ヤンマー
キャベツ収穫機
HC125,A(中型) **NEW**
HC1400(大型)



コンテナ収容式キャベツ収穫機の開発グループが民間研究開発労働者として農林水産大臣賞を受賞。



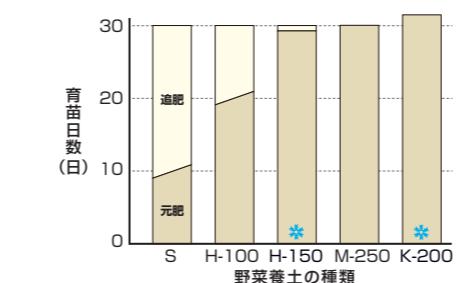
- 機械による一斉収穫で、加工用・業務用キャベツ収穫作業の大幅な効率化・軽労化を実現します。
- 機上で選別・調製作業をして、不要な外葉をば場に廃棄できるため、効率よく、補助者も腰を曲げずにラクに作業が行えます。



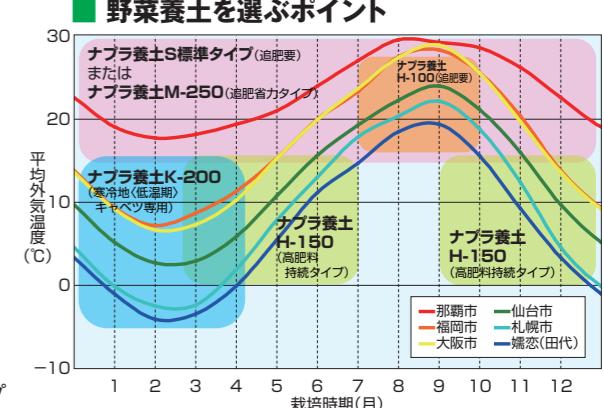
※適応条間60cm以上
※写真はHC1400

野菜養土

野菜づくりは「苗づくり」が決め手！
純正資材で「セル成型苗」づくり。



野菜養土S(標準)タイプ



育苗読本をご用意しています。



機械移植のポイントはセル成型苗づくりです。

ヤンマーではセル成型苗のノウハウをまとめた育苗読本をご用意しています。



ヤンマーアグリ株式会社

〒530-0014 大阪市北区鶴野町1-9
梅田ゲートタワー

yanmar.com

このカタログの仕様は、改良などにより、予告なく変更することがあります。



この印刷物は植物油インキを使用しています。

安全に関するご注意

- ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 無理な運転は商品の寿命を縮め、故障・事故の原因となることがあります。
- 故障・事故を未然に防止するため、定期点検は必ずおこなってください。
- 保証書は、ご購入の取扱い店で必ずお受け取りください。

商品についてのご意見、ご質問は下記へ